

八学大・井上准教授に聞く

八戸商工会議所や八戸地区雇用対策協議会などは21日、八戸市のデーリー東北ホールで、「保護者のためのUターンセミナー」を開く。子ども
の人生における大きな選択の時、親はどのように関わるべきなのか。セミナーで講演する八戸学院大地域経営学部の井上准教授に話を聞いた。



「地元就職では保護者による情報が鍵になる」と語る井上准教授

地元就職 親の関わり方は「情報提供や助言が鍵に」

た。

地元就職を希望する若者は多いが、自身で情報収集するには限界があり、井上准教授は「給与面では首都圏の方が高いかもしれないが、豊かさはそれだけではない。保護者による情報提供やアドバイスが鍵になる」と強調。子ども
のUターンを望んでも、「田舎には何もない」などネガティブな言葉が、地元志向をそいでしまうという。

企業側も、仕事内容や給与、福利厚生などの基本的な採用情報だけでなく、「仕事以外でこんな活動をしているなど、結婚や子育ても含め、社員が地元で働きながらどう充実した生活を送れているかを発信していくべきだ」と、学生が関心を寄せるポイントを挙げた。

セミナーの対象は、八戸近郊に在住で、就職を控えた学生や転職を考えている既卒者の保護者。定員は30人。午前10時開始で、講演のほか、地元企業に勤めるUターン経験者を交えたトークセッション、企業紹介などがある。参加無料。

21日、本社でセミナー



「保護者のためのUターンセミナー」参加申し込み用QRコード